



第 61 号  
平成23年1月16日 発行  
編集・発行  
社新潟県サッカー協会広報部

# 謹賀新年

## 新年にあたって



新潟県サッカー協会  
会長  
小倉 純二

明けましておめでとう  
うございます。  
FIFAワールドカ  
ップ南アフリカに沸い  
た昨年の夏。4大会連  
続4度目のワールドカ  
ップはアウェイの大会  
でベスト16を達成。日  
本の「組織的な守備」  
や「素晴らしいチーム  
精神」が高く評価され  
ました。

その1カ月後、日本  
は早くもキリンチャレ  
ンジカップでパラグア  
イにリベンジを果た  
し、続くグアテマラ戦  
も勝利。ザッケローニ  
監督の初陣となった10  
月の同大会では、FIFA  
ランキング5位の  
アルゼンチンに歴史的  
初勝利を飾りました。  
韓国とのアウェイ戦は  
勝ち星こそ挙げられな  
かったものの、固い守  
りと素早い攻撃で相手  
を苦しめ続け、スコア  
レスドローに。南ア大  
会で掴んだ自信と力が  
ザッケローニ監督の指  
示によって輝きを増  
し、サムライたちは躍  
動感あふれる素暗らし  
い戦いを繰り広げまし  
た。一方、2012年  
のロンドンオリンピック

クを目指すU-21日本  
代表も負けていませ  
11月に開催された  
アジア大会でなでしこ  
ジャパンとともに堂々  
の金メダル。今年は新  
年明けで早々にアジア  
カップが、6月にはオ  
リンピック予選が控え  
ており、日本サッカー  
のさらなる飛躍に大き  
な期待がかかります。  
近年の日本サッカー  
の進歩は目覚ましいも  
のがありますが、その  
土台となる組織の強化  
も重要です。日本サッ  
カー協会は「JFA2  
005年宣言」の中で、  
2015年までに世界  
でトップ10の組織にな  
ることを約束してお  
り、その一環として  
我々は2012年4月  
からの公益財団法人へ  
の移行を目指して手続  
を進めています。公  
益財団法人として認め  
られることで人材の育  
成やスポーツ環境の充  
実などに資金を投入で  
きるほか、社会的な信  
頼度も向上します。新  
潟県サッカー協会をは  
じめ多くの協会が地域  
のスポーツ振興に取り  
組まれていますが、

我々が理念の具現化を  
目指して真摯に取り組  
むことでスポーツの地  
位が向上し、スポーツ  
文化が醸成されるはず  
です。今後とも皆さ  
んと連携して業務にま  
い進んでいきたいと考  
えています。



新潟県知事  
泉田 裕彦

日本サッカーが国際  
舞台で活躍するように  
なり、サッカーへの関  
心はますます高くなっ  
ています。また、現代  
社会においてスポーツ  
はこれまで以上に大き  
な役割を果たすように  
なるでしょう。日本サ  
ッカー、そしてスポー  
ツの発展に向け、新潟  
のサッカーファミリー  
の皆様とともに今後も  
全力を尽くしていきたい  
と思っています。

選手が、サポートメン  
バーとして酒井高徳選  
手が選出されるという  
大変喜ばしいニュース  
や、女子ワールドカッ  
プの予選を兼ねたAFC  
C女子アジアカップ社  
行試合「日本代表VSメ  
キシコ代表」戦が東北  
電力ビッグスワンスタ  
ジアムで開催されるな  
ど、サッカーに対する  
県民の関心がより一層  
高まった年だったので  
はないかと感じており  
ます。

また、多くの県民か  
ら熱いサポートを受け  
るアルビレックス新潟  
は、トップチームが9  
位で、レディースチー  
ムが前年から一つ順位  
を上げ6位でシーズン  
を終えましたが、両チ  
ームともに今シーズン  
の更なる飛躍を予感さ  
せる戦いを展開してく  
れそうです。

など、日本サッカー界  
にとって更なる飛躍を  
遂げるためにも重要な  
国際大会が目白押しと  
なっております。これ  
らの大会に参加する日  
本代表チームに多くの  
本県選手が選出される  
とともに、大いに活躍  
され好成绩を取られ  
ますことを期待してお  
ります。

新潟県サッカー協会  
の坂口夢穂選手、上尾  
野辺めぐみ選手が、日  
本代表チームの主力選  
手として大活躍し、記  
念すべき男女揃ったの  
初優勝に貢献しまし  
た。

このように新潟に所  
属する選手が日本代表  
として世界の舞台で活  
躍してくることは  
我々にとって大変うれ  
しいことであるのはも  
ちろんですが、日頃サ  
ッカー練習に取り組ん  
でいる地元の子どもた  
ちにとっては、もはや  
夢というより具体的な  
目標を与えてくれるも  
のであり、新潟のサッ  
カー界が新たな段階に  
入ったような気がして  
います。

県といたしまして  
も、スポーツは健康・  
体力の保持増進はもと  
より、青少年の健全育  
成、さらには地域社会  
の結びつきの強化な  
ど、県民に多大な恩恵  
をもたらすものと認識  
しており、今後とも一  
層のスポーツ振興に努  
めてまいります。

今年、J1リーグ  
8年目を迎えるアルビ  
レックス新潟にはAC  
L出場を、なでしこリ  
ーグ1部4年目となる  
アルビレックス新潟レ  
ディースには、過去最  
高となった昨年の6位  
を上回る成績を期待し  
たいと思います。その  
ために、我々サポー  
ターが大きな声援を送  
り続けていきましょ  
う。

また、地元ユース  
世代が日本代表や海外  
選手プレーを肌で感  
じることができるよう  
「困  
難ユースサッカー」に  
心から祈念申し上げ、  
年頭のあいさつとい  
た

新潟市長  
篠田 昭

組みが、新潟の競技水  
準の向上に大きな役割  
を果たしているものと  
考えております。

結びに、新潟のサッ  
カー文化がますます盛  
り上がり、新潟のスポ  
ーツ文化全体の発展と  
活性化につながることを  
願うとともに、今年  
も、新潟県サッカー協  
会をはじめ関係の皆様  
にとり健康やかで幸多  
い年となりますよう、  
心から祈念申し上げ、  
年頭のあいさつとい





(社)新潟県サッカー協会  
会長 澤村 哲郎

あけましておめでと  
うございます。皆様にお  
かれましては良き新年  
を迎えにいられたこと  
と心からお慶び申し  
上げます。

日頃から日本サッカ  
ー協会、また関係自治  
体・企業、そして各市  
町村を含めた地区サッ  
カー協会の皆様より温  
かい御指導・御支援・  
御協力を賜わり感謝を  
致しているところで  
す。今年も更なる県内  
サッカーの活性化をめ  
ざし、スポーツによる  
県づくり、人づくり、  
町づくりを努めたいと  
思います。どうぞ宜し  
くお願い申し上げます。

昨年は南アフリカW  
杯で日本はもとより、  
全世界が熱狂するこ  
もに、日本代表の活躍  
は見事でありました。  
ベスト16で敗れたとは  
言え、あの激闘は歴史  
に残る戦いとなり、日  
本サッカーの新たな幕  
開きを感じるものでし  
た。選手達の健闘と岡  
田監督の手腕は高く評  
価されるものです。

さて、当県では昨年  
の国民体育大会を扶ん  
で3年連続で全国大会  
が開催され、昨年の11  
月の全国クラブ大会で  
全て終了しました。3  
大会とも開催地をはじ

めとする多くの皆様の  
御支援と御努力により  
まして、成功裡に終る  
ことができました。改  
めて関係各位に御礼を  
申し上げます。これか  
らは、ここで生まれた  
数々の遺産を生かし、  
更に県内スポーツ文化  
の構築に取りくんでき  
たいと考えていま  
す。

さて、当協会では二  
〇〇七年宣言を発表し、  
長期・短期の展望のな  
か、数々の事業を展開  
し推進してあります。3  
年が経たな、一昨年、  
これまでの推進目標に  
対する分析と評価をす  
るとともに、新たな短  
期目標を示したところ  
です。有難いことにキ  
ッズからシニア、女子  
サッカー、フットサル、  
ママさんサッカーにお  
いても年々普及が進む  
とともに、強化面にお  
いても成果が表われ、  
ここ数年、ユース年代  
の各カテゴリーにおい  
て日本代表選手が誕生  
するとともに、女子サ  
ッカーにあっては北信  
越を代表して活躍する  
選手が生まれており喜  
んでいます。

また、良き指導者な  
くして良き選手・チー  
ムは育たないことか  
ら、例年長時間のプロ  
グラムを設定し、指導  
者の養成はじめ、リフ  
レッシュ研修に努めて  
いるところです。同時  
に審判員の養成とレベ  
ルアップのため、数年  
前から全国でもあり例  
を見ないレフェリース  
クールを発足させるな  
ど、積極的に取りくん  
でいます。お陰で確実  
に優秀審判が育成さ  
れ、レフェリースクー  
ルに対する評価が高ま  
っています。

さて、昨年もアルビ  
レックスから多くの感  
動をいただきました。  
昨年より順位は下がっ  
たものの、黒崎監督の  
掲げるアグレッシブで、  
より攻撃的なサッカー  
が選手に浸透し、流動  
的で運動性のあるバス  
ケットサッカーが展開され、  
取組の多い年であった  
ように感じます。今年  
こそACLへ進出する  
とともに、タイトルを  
つかんでほしいもので  
す。そのためにはチー  
ム自体の努力だけでは  
なく、もう一度アルビ  
レックスの原点に戻り、  
創設時の原点に戻り、  
企業・行政・住民が一  
体となった支援体制を  
充実させることが急務  
であり、昨年6月にア  
ルビレックススポーツ  
会議を発足させ、県、  
新潟市、聖籠町も出席  
いただき、検討を重ね

てきたところです。  
地域に根差したおら  
がチームを旗印に素質  
のある若い選手を育て  
育成型チームとして、  
全国に誇れるチームに  
したいものです。県民  
の皆様はじめ、サッカ  
ーファミリーの皆様か  
ら、更なる熱い声  
援をいただきたくと思  
います。

ところで、当協会  
は2012年7月の発  
刊をめざし、協会60年  
史発行に着手したこ  
ろです。以前から当協  
会の歴史をまとめ発刊  
すべく考えてきました  
が、2002年W杯・  
2009年国体が開催  
され、なかなかその時  
間的余裕がなく今日に  
至ってしまいました。  
発刊にあたっては、相  
当なエネルギーが必要  
であり苦慮してしまし  
たが、幸い新潟日報事  
業社から温かい御協力  
が得られることとな

り、意を強くしてい  
るところです。それにし  
ても多くの皆様の御支  
援なくしては発刊は難  
しく、順次関係機関各  
位の御協力を賜わりた  
いと考えています。  
我々はいつてもスマイ  
ル、そしてチャレンジ  
をスローガンに、夢の  
実現に向けて努力しま  
す。GOALS!  
皆々様の益々の御発  
展を心から祈念申し上  
げ挨拶と致します。

9位(12勝13分9敗)  
という成績を残すこと  
ができました。ホーム  
ゲームの清水エスパル  
と戦い、1-1、リーグ  
制覇した名古屋グラン  
パスにも1-1と大勝  
し、上位の強豪チーム  
にも対等に戦えたこ  
とは、黒崎監督の指  
揮のもと、選手達の粘  
り強く最後まであきら  
めない頑張り、そして  
シーズンを通してホー  
ムはもちろんのこと、  
アウェイにも大勢のサ  
ポーターの皆様が応援  
に駆けつけて声援して  
いただき、その熱意と  
力強い後押しがあった  
からと感謝しております。  
そしてGK東口、  
DF酒井、FWチヨ  
ン Chol、DF鈴木  
など若手選手の成長と  
MF本間、MFマルシ  
オなどの経験豊富なベ  
テランがチーム一丸と  
なって、J1の厳しい  
戦いに勝ち抜くことが  
できましたことを、心  
より御礼申し上げます。

また、ワールドカッ  
プ南アフリカ大会に  
は、FW矢野がピッチ  
に立ち、DF酒井がサ  
ポートメンバーで参加  
させていただき、日本  
代表のベスト16に貢献  
できたこと、中国で開  
催されたアジア大会で  
は、U-21日本代表と  
してDF鈴木が、日本  
女子代表ではMF上尾  
野辺、坂口が金メダル  
を獲得、アルビレック  
ス新潟所属としては、  
U-21韓国代表として  
FWチヨン Cholが銅メ  
ダルを獲得することが  
できました。

明けておめでと  
うございます。日頃よ  
り新潟県サッカー協会  
並びに新潟県内サッカ  
ー関係者の皆様からア  
ルビレックス新潟に対  
して、多大なご理解と  
ご支援を賜り厚く御礼  
申し上げます。

さて、アルビレック  
ス新潟は昨シーズンJ  
1リーグ7年目を迎  
え、黒崎監督はチーム  
を率いての初めての挑  
戦となりました。F  
Wミシエウ、MF小林  
アウエーにも大勢のサ  
ポーターの皆様が応援  
に駆けつけて声援して  
いただき、その熱意と  
力強い後押しがあった  
からと感謝しております。  
そしてGK東口、  
DF酒井、FWチヨ  
ン Chol、DF鈴木  
など若手選手の成長と  
MF本間、MFマルシ



株式会社アルビレックス新潟  
代表取締役社長  
田村 貢

アルビレックス新潟  
は、これからもクラブ  
コンセプト「ひとつく  
り」、「まちづくり」、  
「豊かなスポーツ文化  
の創造」に基づき、地  
域と密着し地域の皆様  
に愛されるクラブづく  
りを継続していきたく  
と思っております。今  
後ともアルビレックス  
新潟により一層のご支  
援、ご声援を賜ります  
ようお願い申し上げます。



## NiFA マスタープラン 2007 スタート

新潟県サッカー協会は、英語名: Niigata Football Associationの略称を従来のNFAからNiFAに変更し、これを「ニーファ」と読みます。また、新たなスタートを切るNiFAを象徴するシンボルマークを作成。4本の翼は新潟、上越、中越、下越の4地区協会を表し、新潟県の形も示しています。そして4地区協会の飛躍による新たな新潟のサッカーをGOALに向かうサッカーボールで表現しました。さらに濃いブルーは新潟の空と海、地域に根ざしたNiFAを表しています。NiFAはさまざまなシーンでこのシンボルマークを使用していきます。

### NiFAの理念

サッカーを通じて豊かなスポーツ文化を創造し、県民の心身の健全な発達と社会の発展に貢献する。

### NiFAのビジョン

- 1.新潟県におけるサッカーの普及に努め、全ての県民がサッカーに親しむ環境を作り上げる。
- 2.他の競技団体と連携し、スポーツをより身近なものとする。県民の健康で豊かな生活をサポートする。
- 3.新潟県を代表するチームが日本のトップレベルで活躍できるようサッカーの強化に努め、新潟県出身プレイヤーが国内外で活躍することで、県民に勇気・希望・感動をもたらす。
- 4.常にフェアプレーの精神を持ち、国内外の人々との友好を深め、社会に貢献する。

### NiFAの目標2015

- 2015年には、健全でゆるぎない組織となり、6つの目標を達成する。
- (1)新潟県内のサッカーファミリーが8万人となる。
  - (2)Jリーグ、Lリーグに新潟県出身プレイヤーを合計10人以上輩出し、日本代表フル代表、年代別代表等に選出される選手を輩出する。
  - (3)各カテゴリーの全国大会において、新潟県チームのいずれかが常にベスト4以上の成績を修める。
  - (4)JFLに加盟するチームを育成する。
  - (5)各カテゴリーの全国大会、国際試合を誘致、運営する。
  - (6)新潟県内の各地区にサッカースタジアムがある。

### NiFAの目標2050

- 2050年にむけて、組織基盤をさらに強固なものとし、2050年までに以下の目標を達成する。
- (1)新潟県内のサッカーファミリーが15万人となる。
  - (2)Jリーグ、Lリーグに新潟県出身プレイヤーが合計10人以上存在し続け、日本代表フル代表、年代別代表等に選出される選手を輩出し続ける。
  - (3)日本でFIFAワールドカップが開催される際には、サッカー専用スタジアムで試合を開催する。





此度、大和ハウスさんの温かい御支援をいただきながら、BSN新潟放送さんから主催をいただき、前日本代表・岡田監督のトークショーを十一月十日、新潟県民会館で開催しました。

当日は1200名を超す来場者のなか、新保新潟県副知事、篠田新潟市長からも御挨拶をいただきました。多くの来賓の皆様から御出席をいただき大盛況でした。当日は岡田氏とBSN小尾浩子アナウンサーとのトークショーと言う形で進められました。W杯時の監督を引き受けた経緯、選手選考と起用を含めた数々の苦悩、選手とのコミュニケーションの有り方、日常生活と指導理念、また事



12月10日  
岡田前代表監督  
講演会

を決めるにあたっては常に熟慮し強い気持ちで断行するなど、巧みな話術とユーモアを交えて話され来場者は人間・岡田氏の魅力に引きつけられ、まさに舞台と会場が一つとなり時間の経つのを忘れる程でした。

いずれにしても南アフリカW杯の勝利と感動は、ぶれない岡田氏の信念と自信、そして周到な準備と聡明な頭脳が生んだものであることは確かである。今後は日本だけでなく世界の舞台で更に活躍していただきたい。

最後に改めて大和ハウス様、BSN新潟放送様に心から御礼申し上げます。



## 各地区協会の抱負

### 2011年に向けて

新潟地区サッカー協会 会長 山崎 孝雄

新年明けまして、おめでとうございます。現在、新潟地区サッカー協会は、新潟市サッカー協会として活動を行なっています。

第11回新潟市民サッカー大会も150チームの参加で、6月7日と太夫浜球技場をメイン会場として、ブロックリーグ戦、決勝トーナメントを行ない、決勝はJリーグでも使用した新潟市陸上競技場のピッチで行ないました。競技場のピッチは東北電力ビッグスワンのピッチに劣ることなく素晴らしく決勝に勝ち進んだ両チームの選手は、このピッチでゲームを出来る事を喜び、サッカーを楽しんでいる様でした。

又、第10回を迎えた国際サッカーJAMは、250名から300名の参加で、10月17日太夫浜球技場で行ないました。この大会は、旧新潟市サッカー協会役員のサッカーはワールドスポーツと言う発想から生まれた大会です。両大会とも五十嵐治理事長を中心に協会役員、ボランティア、そして国際サッカーJAMでは語学ボランティアの皆様のご協力を、新潟市のご支援で行なっている大きな事業の2つです。

日本サッカー協会の登録チーム、選手が減少している現在、サッカーを愛するファミリーが市内、県内にも沢山おられる事を、改めて再認識しています。遠くない将来登録ファミリーが、少しずつでも仲間になってくれる事を願って役員一同2011年に向けて活動を続けて行きたいと思っております。

### 2011年 中越地区の抱負

中越地区サッカー協会 会長 山下 英勝

昨年の各年代日本代表に中越地区から3名が選ばれております。皆様ご承知のアルビレックス新潟の酒井高德選手（U-19代表・三条市・レザーSS）、同じくアルビレックス新潟ユースの川口尚紀選手（U-16代表・長岡市・ビルボード）、中学生からはFC.Artista U-15の須田航選手（U-14選抜・南魚沼市・塩沢SS）です。2050年宣言に中越地区から各年代の日本代表に5名排出すると致しましたがすでに3名となりました。今後は目標の早期達成と優秀な選手がより多く排出できる環境作りを考えて参ります。なお、選手育成のご苦勞は選手本人のみならず、旧所属クラブの指導者の皆様、地区トレセン、県トレセンスタッフの皆様、そしてご家族の皆様の厳しくも暖かなご指導の成果だと感謝申し上げます。

クラブと致しましては、全日本フットサル（U-15）大会に長岡ビルボードFCと長岡JYFCが出場致しました。ビルボードは残念ながら予選リーグで2勝するも敗退しましたが、長岡JYFCは一昨年の優勝に続き準優勝いたしました。中越予選は全国大会より厳しい地区予選という声も聞かれています。

又、施設環境面でも長岡市、柏崎市、南魚沼市に待望の人工芝サッカー場が年内完成予定です。この事により益々のレベル向上やサッカー人口の増加に多大な影響を与える事と思っております。関係者の皆様に感謝申し上げます。

最後にサッカーファミリーの皆様に取りまして本年が良い年であります様、祈念致しております。



### 県協会との連携

上越地区サッカー協会 会長 森 啓之輔

明けましておめでとうございます。月日の経つのは早いもので、ブゼラの音が耳に残る南アフリカワールドカップの興奮も半年前のことになりました。単独での開催を目指した2022年W杯招致も失敗に終わってしまいましたが、新生日本代表はザッケローニ監督のもと、次回ブラジルW杯に向けてスタートを切っています。日本代表チームの更なる活躍を願うところです。

さて、昨年末に県協会の澤村会長、渡辺専務理事を上越にお迎えして、県・地区協会懇談会を開催いたしました。当日は上越地区協会傘下の上越市、妙高市、糸魚川市、柿崎町のサッカー協会関係者25名余が参加し、県と地区の協会の現状と今後の方向性について活発な意見交換が行われました。

地区協会の役割として、県協会との連携という観点から見れば、各種別の県大会が既に上越地区で開催されている現状はあるものの、大会の主管を任せられるだけで、その運営に地元スタッフが窮々としているのが現実のようです。

今後は各種別の役員どうし話し合いだけに留まらず、大会の開催、運営、予算、結果報告等の全般にわたり、県協会から地区協会への流れを明確にして連携を深めていくことが必要と感じました。

また今年度は、各市町村協会独自の行事を精選して、地区協会主催の事業を立ち上げたいものと考えております。今後とも新潟県のサッカー発展の為、より良い連携の方策を求めていきたいと思っております。

### 下越地区サッカー協会のこれから

下越地区サッカー協会 会長 三條 孝夫

平成20年度は、第44回全国社会人サッカー選手権大会、平成21年度は、2巡目国体の第64回国民体育大会サッカー競技が開催され、成年男子は優勝、成年女子は準優勝し、初めての総合優勝を成し遂げ、会場の下越地区のみならず、多くの県民に感動を与えました。平成22年度は、アマチュア日本一を決める、第17回全国クラブチームサッカー選手権大会が、新発田市・聖籠町で開催され、地元FCシバタが出場し、埼玉県代表の狭山ラトルズ・サッカークラブに、応援むなしく延長戦で惜敗しましたが、大変盛り上がった試合でした。大会を開催するにあたり温かいご支援をいただいた、新発田市、聖籠町、関係団体・機関・企業、また運営にたずさわった役員、補助員の皆様に厚く感謝申し上げます。

三つの大きな大会でしたが、この経験を生かして益々全国大会等が開催されるよう、下越地区の各会場の施設・設備を充実させるとともに、サッカーの普及と育成に努めていきたいと思っております。

11月22日に県サッカー協会主催の下越地区懇談会が行われました。お忙しいところ澤村会長さんと渡辺専務理事さんが出席され、県サッカー協会の現状と今後の方針や考えを説明いただき大変よく理解できました。委員からの意見と要望は、「登録チームの増加のために働きかけとチャレンジ大会を考えてみたい」「中学校にサッカー部がないので止めて他の部活動に入ってしまう」「優秀な女子の選手が中学校で活動する場がないので止めてしまう、中学校に指導者がほしい」「審判講習会を平日の夜にできないか」「審判講習会を各地区で開催できないか」などのきいたんのない意見交換が行われ大変有意義な会でした。

来年度もこの会を実施していただきますようお願いいたします。

最後に、下越地区サッカー協会の発展のために各市町村協会との連携を深める懇談会の開催。一種から四種年代の全国での継続的な活躍と各種委員会による普及・育成・強化に力を入れたいと考えております。

## 将来の夢

長岡Joias 堀田 咲良

私の将来の夢は、サッカーのコーチになることです。私は中学生になるまでサッカーというスポーツに全く興味がありませんでした。でも、弟の影響で私はサッカーを始めました。最初はわからないことばかりだったけど、コーチやチームのみんなのおかげでサッカーというスポーツがとても楽しいものだとわかりました。

私はサッカーを始めてからたくさんのことを経験し、学ぶことができました。仲間の大切さ、試合に勝った時の喜び、負けたときの悔しさ、他にもたくさんのことを学びました。私はサッカーを始めてから学んできたことを、サッカーを通してたくさんの人に伝えたいと思いました。だから私はサッカーのコーチになりたいと思いました。

これからもたくさんのことを経験し、学んでサッカーのコーチになれるようにがんばりたいです。

## 私の夢

阿賀フットボールクラブ 吉川小夜子

私の夢は、「なでしこジャパンに、入って活躍することです。」その為に私は、自主練習を頑張っています。でも、大会やトレセンに行くと、まだまだ、自分より上手い人がたくさんいました。なので、私はその人に追いつき、追い越せるように、頑張らなくてはならないと思いました。でも、ただ頑張るだけでなく一つの練習に、目標をつくり、その目標をクリアしていきたいです。

私は、今までサッカーを通して、色々なことを教えてもらいました。その中で、一番大切だと思うのは、サッカーができることだと思います。サッカーができるのは親や監督、コーチ、応援をしてくれるチームの父母の方たち、そして、一緒にサッカーをしてくれる仲間がいるからです。だから、サッカーができることに感謝してこれからも一生懸命頑張ります。

今はまだ、「なでしこジャパン」と言う夢は、遠いけれど諦めず人一倍努力をして夢を追いかけたいです！！

## 「夢」

新潟市立内野中学校3年 サッカー部 主将 八代 司

僕の夢は、高校サッカーでも新潟県のチャンピオンになって、全国大会に出場することです。今年の夏には、新潟県中学校サッカー大会で優勝しましたが、北信越大会で敗れ、全国への舞台には行けませんでした。僕は常に全国大会に出場することを目標に練習してきました。つらくて逃げ出したいときもたくさんありましたが、一緒になって戦ってくれる仲間がいたおかげで、自分たちで決めた目標を見失わず、ここまでくることができたのだと思います。

この内野中学校サッカー部で最高の仲間と出会い、サッカーができたことを誇りに思います。「下手くそな自分でも、努力を惜しまず、夢に向かってあきらめなければ、絶対に夢を叶えることができる。」僕はこの言葉を信じています。たくさんの人に支えられて今の自分はサッカーができています。そして、サッカーは私を人として成長させてくれました。内野中学校で得た喜び、悔しさ、仲間との絆…。さまざまな経験を忘れず、大好きなサッカーをこれからも続けていきたいです。

## 夢

吉田SC 宮路 潤

ぼくの将来の夢はプロサッカー選手になることです。サッカーにはたくさんの嬉しい時があり、ずっと続けたいからです。

敵のボールを奪うことができると嬉しいし、ドリブルでディフェンスを抜くことができた時、味方に良いパスが通せた時、シュートが決まった時は特に嬉しいです。そして、みんなでハイタッチをする時が一番気持ちが良いです。また、僕はガンバ大阪の遠藤選手にあこがれています。遠藤選手は味方が取りやすいスピードでコースを考えてパスを出します。

そして、その後スペースに走ってボールをもらいシュートを打っていくことができます。僕も同じようなプレーができたら良いなと思っています。

でも今のままでは僕はプロにはなれないと思います。だから、コーチの方々の話をよく聞き、サッカーの試合もたくさん観て勉強したいと思います。

そして、プロ選手になる夢をかなえたいです。オレンジのユニフォームを着て、ビッグスワンを走りまわりたいです。

## 夢

アルビレックス新潟ジュニア 内藤 勇輔

今年は、南アフリカでワールドカップが開催されました。そこでの日本代表の活躍を見て、絶対に世界で活躍できるプロサッカー選手になり、ワールドカップで優勝すると心に決めました。ぼくは、ワールドカップで2得点を決めた本田選手のように、世界で活躍するプレーヤーになりたいと思っています。今年は、全日本少年サッカー大会と関東選抜少年サッカー大会に出場しましたが、他県の選手のレベルの高さに驚き、自分のレベルの低さを感じました。他県の選手に負けないレベル、追い越すレベルになるために、練習を集中してやっています。今年は、夏の全国大会後なかなか結果を残すことができませんでした。新潟市選手権大会、バーモントカップなどでは、「自分が得点していれば」「自分がしっかりマークをしていれば」と責任を感じています。自分の夢に近づくには、失敗を今後活かすために、意識するだけでなく努力することが大切だと思いました。いっぱい練習し、努力して、世界で通用する技術を覚え、将来はアルビレックス新潟のトップチームに昇格し、世界で活躍できるプロサッカー選手になり、ワールドカップで優勝します。それがぼくの夢です。

ぼくの・わたしの  
夢



# 女子サッカーの状況と活動

新潟県サッカー協会 女子委員長 田邊 友恵

## ★知ってる？女子サッカー！★

女子サッカーが現在どのような状況にあるか、また、どのような活動を行っているかご存じでしょうか。

新潟県では、独自の種別を越えた参加資格の規定も設けられ、女子選手が活動しやすい制度ができていく一方、選手人口の低迷、チーム数の不足など、まだまだ十分な環境にあるとは言えません。認知度もそれほど高くないでしょう。しかし、逆に言うと、女子サッカーは改善の余地が大いにあり、これからますます発展する可能性を秘めているということでもあります。

## ★子供から大人まで！

女子サッカー普及活動の一環として、年に数回、各地でレディースガールズフェスティバル

(<http://www.jfa.or.jp/festival/index.html>) というイベントを行っています。各地区のチームや学校から参加者を募り、サッカーを楽しんでもらいます。また、来年からの試みとして、各地区での巡回サッカー教室の開催を企画しています。各小学校や幼稚園、保育園などに広く宣伝し、今までサッカーをしたことがない子どもやその親も含めて対象とします。選手登録していない人たちが、サッカーに興味をもつきっかけになるのが一番ですが、サッカーだけに限らずスポーツをするこ

と、体を動かすことの楽しさを知ってもらうことも目的です。さらに、親子で楽しむという点にも意味があります。あるクラブチームでは、クラブに参加している子どもの母親がレディースチームをつくり、活動をしています。子どもがきっかけとなり、サッカーを始める母親もいるのです。それとは逆に、母親がサッカーをしていることがきっかけで子どもも始めるようなパターンは、現時点ではそれほど

多くありませんが、増加すれば選手人口の増加にもつながっていくと期待できます。

## ★課題は小学生から

中学生への橋渡し！★ <http://www.jfa-teams.jp/>

ところが、課題となっていてのがチーム数の不足です。全国的に中学生年代のチーム数は少なく、また、一般のカテゴリーにおいてもそれほど多くありません。せっかくサッカーに親しみ、続けたいと思っても、やる場所がないれば続けていくことは困難です。きっかけづくりと共に、各世代がサッカーを続けていけるような環境づくりも不可欠です。

## ★世界のなでしこになる！！★

[http://www.jfa.or.jp/nadeshiko\\_vision/index.html](http://www.jfa.or.jp/nadeshiko_vision/index.html)

女子サッカーが発展していくためには、労を惜しまず様々な働きかけをし、まずは多くの人に興味をもってもらうことが必要であると思います。それぞれの地区での活動が主となりますが、新潟県全体として同じ志をもち、女子サッカー界を盛り上げていけたらと願っています。



※日本サッカー協会女子サッカー情報ページ※  
「NADESHIKO PARK」<http://www.jfa.or.jp/nadeshiko/>  
※新潟県サッカー協会の女子大会情報ページ※  
「女子委員会」<http://www.niigata-fa.or.jp/old/joshilinkai.htm>

# Let's Enjoy Futsal!

フットサル委員会 森 恭



PUMA CUP 第16回全日本フットサル選手権新潟県大会決勝より

## 皆さん、サッカーを

楽しんでいらつしやいますか？

フットサルを楽しくていらつしやいますか？

アルビレックス新潟の所属するJリーグやスーパーリーグ、北信越サッカーリーグ、大学や高校の大会など見るスポーツとして、見込のあるサッカーが新潟県内でも展開されています。また、応援するスポーツとしても、これからのサッカーに加えて、中学生、小学生年代の大会・試合が毎週末のように、県内のどこかで開催されています。さらには、行うスポーツとして、多くの皆さんがサッカー、あるいはフットサルをプレイされていることと

思います。JFAはフットサルを日本に普及させる段階で、「いつでも、どこでも、だれでも」楽しめるサッカー(フット

ボール)とし、フットサルを紹介してききました。この背景には、特に首都圏、関西圏において、サッカーをプレイするピッチが不足し、人口と

のバランスから、思ったようにサッカーをプレイすることが困難な状況であったことがあげられます。また、昨今の若者事情なのでしょう。サッカーの試合を行うために1チーム11人を超える人数が集まることもなかなか難しい状況も存在しています。このような社会情勢にビッタリのフットボールとして、まずは行うスポーツとして、フットサルが紹介されてきた歴史があります。フットサル愛好家の中には、大人になつてからボールを蹴り始めた人も少なくありません。少年サッカーチームのママ、パパも手軽に、気軽に始められるのもフットサルの魅力です。このように、流れの中で首都圏、関西圏では、テニスコートからフットサルコート(ピッチ)への転換、あるいは併用、さらには新設と、フットサル

を行う「場」も増え、県内でも民間フットサルピッチは増加してきています。また、フットサルの認知度が上がるに従って、屋内の公共施設でも徐々に(遅々としてですが)フットサルプレイへのフロアの開放が進んできました。そして、フットサルの普及とともに、トップを目指すチーム/選手も増加することとなり、都道府県リーグ、地域リーグ、さらには全国リーグが整備されてきています。つまり、行うスポーツのみならず、見せる、魅せるスポーツとしてのフットサルも着実に発展してきています。競技フットサルの頂点としての全国リーグである日本フットサルリーグ(通称ドリッグル)は、今年度で4年目を迎えます。これに先立ち、国内各地域でもリーグが設立されており、北信越フットサルリーグも今年度が第8回となります。さらに、北信越リーグ開設の1年前には、新潟県フットサルリーグが設立され、今年度で第9回を迎えることとなりました。現在では日本全国で、都道府県リーグの上位チームが地域リーグにチャレンジ

し、さらに条件を整えて地域リーグからドリッグへの参入する、というピラミッドが完成してきます。

また、かつて新潟県に在住したドリッグプレイヤーもいます。長谷川翔太選手(新潟市立高志高校出身)は、新潟市から北信越リーグに参戦しているShella niigataでプレーした後に、ステラミーゴ花巻に移籍しました。シユライカー大

阪の佐藤亮選手は帝京長岡高校出身です。また、かつてフットサル日本代表やビーチサッカー日本代表として、それぞれの世界選手権でも活躍し、現在デュソソ神戸の監督を務めている比嘉リカルド選手は、アルビレックス新潟がJ2の頃にチームを支えた選手であったことは皆さんのご存知のとおりです。また、同じく河原塚教選手は、ビーチサッカー日本代表として、また、トップチームのソーマブライアの代表兼監督兼選手として、現在も活躍しています。2001年度のバロレ京ヶ瀬の優勝に続いて、長岡JYFCが全日本ユース(U-15)フットサル大会で、2008年度優勝、2009年度準優勝と2年連続でファイナリストとなったことは記憶に新しいところです。このように、日本のフットサルはどんどん発展してきています。その中に、新潟の存在は他の県から一目置かれるものでもあります。もちろん、フットサルは常に皆さんの身近な「いつでも、どこでも、だれでも」できるフットボールで有り続けていきます。ある意味では、スポーツの望ましい姿の一つであるかもしれない。特別な人しかできないことではなく、日常の中にある、だれもがチャレンジできることの頂点として、世界チャンピオンが存在すること。こんなフットサルをあなたもプレイしてみませんか？



かな？ NIFA新潟県サッカー協会では、各年代のフットサル大会や、ファミリーやレディース、キッズなどさまざまな方々に楽しんでいただけるフェスティバル等のフットサルイベントを開催しています。詳しくは新潟県サッカー協会公式サイトをご覧ください。フットサル委員会のページのみならず、各年代(種別)のページにも情報が記載されています。審判委員会のページには、フットサル審判資格の講習会のご案内もあります。雪だか

**Let's enjoy Football !!**

新潟県サッカー協会公式サイト <http://www.niigata-fa.or.jp/>  
 新潟県フットサル連盟公式サイト [http://www.5f.biglobe.ne.jp/~niigata\\_ff/](http://www.5f.biglobe.ne.jp/~niigata_ff/)  
 Fリーグ <http://www.fleague.jp/fl/jsp/>

これからお申込いただける大会・フェスティバル

- 各市町村・地区フットサル大会 (それぞれへお尋ねください)
- 新潟県フットサルリーグ・チャレンジリーグにつながる大会もあります
- JFAファミリーフットサルフェスティバル (県内4地区開催)

見るスポーツとして

- 第9回新潟県フットサルリーグ・冬季トップリーグ (連盟サイトをご参照下さい)
- PUMA CUP 第16回全日本フットサル選手権・北信越大会 (1/22、23 新潟市体育館)
- 第8回北信越フットサルリーグ最終節 (2/6 新潟市体育館) など



### 第89回全国高校サッカー選手権

#### 新潟西8強ならず

2回戦 新潟西高校 3 (1-1, 2-0) 1 宇部高校

3回戦 立正大湊南高校 5 (0-0, 5-1) 1 新潟西高校

### 第59回全日本大学サッカー選手権大会

12月18日～1月5日

1回戦 新潟経営大学 0 (0-4, 0-7) 11 明治大学

### 高円宮杯第22回全日本ユース(U-15)サッカー選手権大会

12月19日～29日

1回戦  
アルビレックス新潟ジュニアユース 2 (0-2, 2-3) 5 東京ヴェルディジュニアユース  
グランセナ新潟FCジュニアユース 0 (0-0, 0-1) 1 神戸FCジュニアユース

### バーモントカップ第20回全日本少年フットサル大会

グループリーグ Fグループ 3位  
グランセナ新潟FCジュニア 3 (0-4, 3-3) 7 コンサドーレ札幌U-12  
グランセナ新潟FCジュニア 5 (3-1, 2-1) 2 沖州FC  
グランセナ新潟FCジュニア 2 (1-3, 1-0) 3 アミーゴス三ツ峠FC

## キリンカップ国際試合 新潟開催決まる!

日本代表戦・U-22日本代表戦  
(ロンドンオリンピック予選出場候補)

### 同日開催

場所 東北電力ビッグスワンスタジアム  
期日 2011年6月1日  
時間 未定(U-22)  
未定(日本代表)

入場券販売については後日ご案内致します。  
御期待ください。



### ◆◆◆審判委員会だより◆◆◆

新年明けましておめでとうございます。昨年5月より審判委員長に就任し、公式戦で活動する機会が増えました。ユースの精神とリスベクトを身につけるサッカーとして大会を運営するに当たり、審判委員会の活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。今後ともどうぞよろしくお願いたします。

2010年の審判委員会の活動を振り返ると、08年の全国社会人大会・09年の国体に続き、3年目の全国大会である全国クラブチーム選手権大会が滞りなく終了し、2011年は県内開催の北信越リーグの試合数の増加をはじめ、県内主要大会への審判派遣など今まで以上に審判員の資質の充実が求められるところであります。そのような中、本年度の2級審判への認定は新制度による前期認定(年度内昇級)が6名、レフリースクール認定は5名の計11名でした。第一線で通用するよう経験と研鑽を積み重ねていただくことを願います。

さて、今後全国の流れをどのように入力し、対応していくか検討が必要とあり、第一にU12年代の「8人制サッカー」です。ご存じの通り8人制サッカーを広める目的は「楽しみながら成長でき、公式戦で活動する機会が増えること」です。ユースの精神とリスベクトを身につけるサッカーとして大会を運営するに当たり、審判委員会の活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。今後ともどうぞよろしくお願いたします。

2010年の審判委員会の活動を振り返ると、08年の全国社会人大会・09年の国体に続き、3年目の全国大会である全国クラブチーム選手権大会が滞りなく終了し、2011年は県内開催の北信越リーグの試合数の増加をはじめ、県内主要大会への審判派遣など今まで以上に審判員の資質の充実が求められるところであります。そのような中、本年度の2級審判への認定は新制度による前期認定(年度内昇級)が6名、レフリースクール認定は5名の計11名でした。第一線で通用するよう経験と研鑽を積み重ねていただくことを願います。

さて、今後全国の流れをどのように入力し、対応していくか検討が必要とあり、第一にU12年代の「8人制サッカー」です。ご存じの通り8人制サッカーを広める目的は「楽しみながら成長でき、公式戦で活動する機会が増えること」です。ユースの精神とリスベクトを身につけるサッカーとして大会を運営するに当たり、審判委員会の活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。今後ともどうぞよろしくお願いたします。

### 事務局より

新年講話会  
期日 1月16日(日)  
場所 グランドホテル  
時間 14時～16時

「世界サッカーの現状と日本協会 JFA副会長、専務理事の展望」  
講師 日本サッカー協会副会長 兼専務理事 田嶋 幸三氏

「世界の女子サッカーの現状と日本代表」  
講師 なでしこジャパン監督 佐々木則夫氏

「二〇一〇年の報告と二〇一一の抱負」  
講師 アルビレックス新潟監督 黒崎 久志氏

### サッカー協会からのお願い

#### 60年史作成に関する資料提供のお願い

草創期から(戦前の話も)現在までの資料(新聞記事、写真等)をお持ちの方は協会事務局までご連絡ください。

(社)新潟県サッカー協会  
事務局 TEL 025-211-0111  
FAX 025-211-0133